

AI & MAI

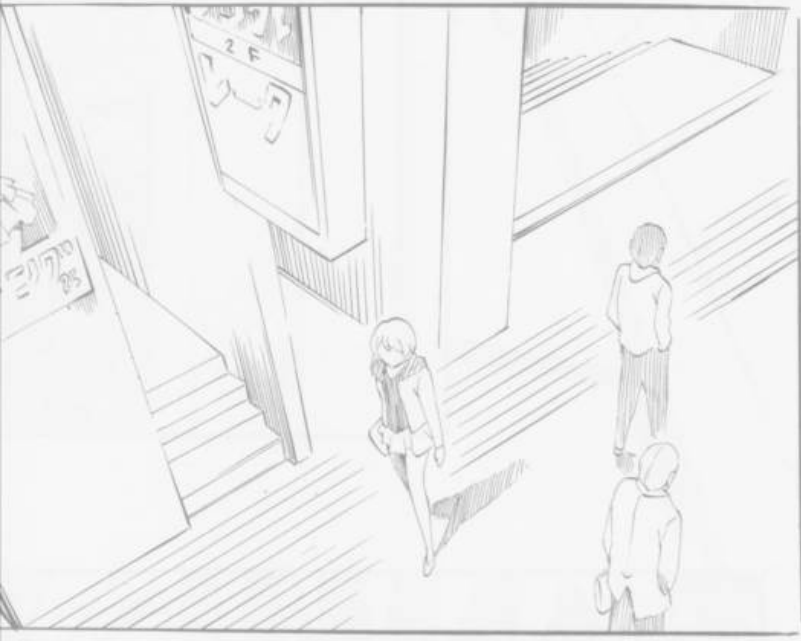


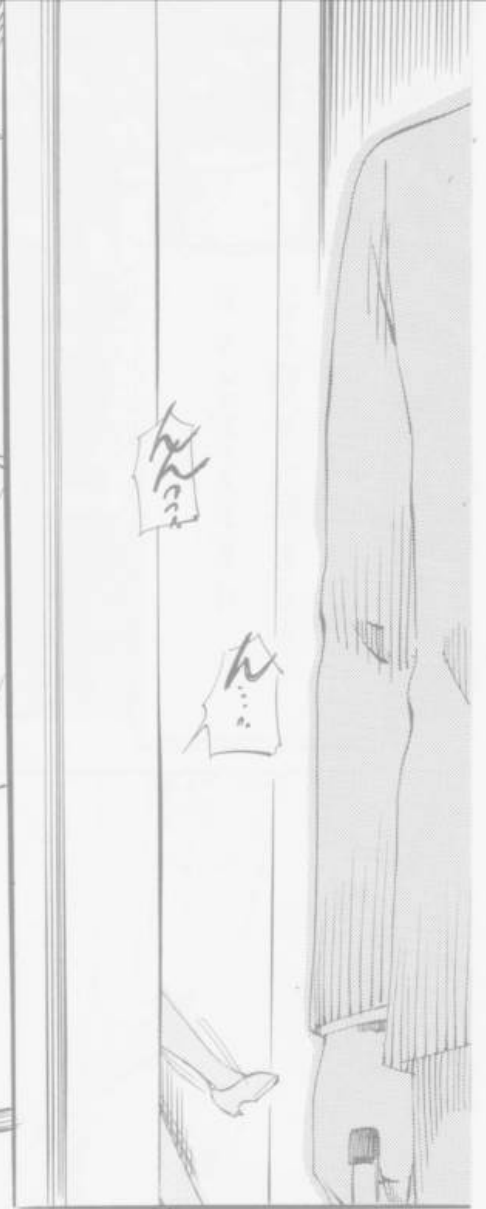
IV

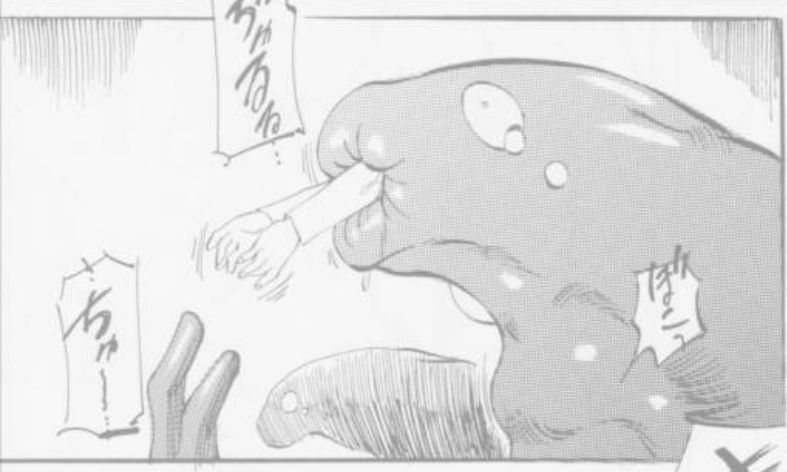


時に、平和な空間は
いと簡単に崩れ去る...

光に閉じ
隣り合わずに存在する









人の世から憎しみや
悪意は消えな限り！
途絶えろと行ないのた。

閉鎖は人の世から
生まれ出る。それは！



やけり！
鶴雀殿の結界の中に
魔物は入って来られぬ
ようじゃ



外に果ては様子の
淫気が集まるといふ

いかに何か起るに
方の……



三つ美影にお任せ
下さい

外に出る様子を見
察します



「今朝け方は美彩さん
いまだん」

「おめ：こんな危険がある
分かんない...!!」

「美彩さん...!!」



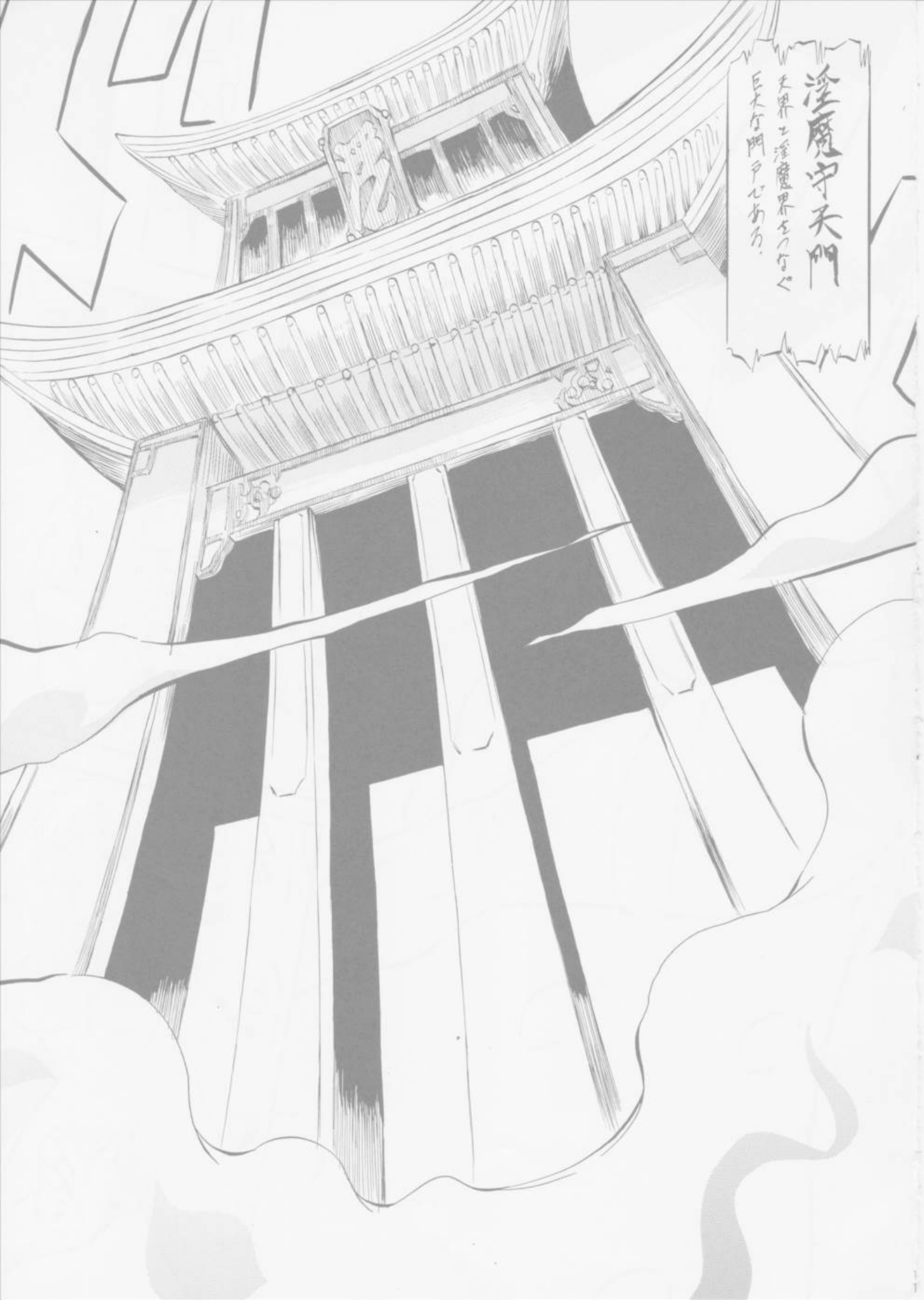
「こんな時に...」

「参ります...!!」

「何も出来ない
なん...!!」

「!!」





淫魔守天門

天界と淫魔界を分ける
巨大な門戸心あり。





…悪女様よ…
天女達のヤセも



お前にお付けは目と
お付けは、おもの

…
神夜の好子の妹

…ならば…
始末有れば…
私の役目けもう終わったの
おかしな

…
鶺鴒うすのよ…

昔…
思…
…



お前のお乳や

えの乳には分かん
ません

これから他の夫と同様に
謝教を施し、倍本有る母
月詠に献する方

我等は同胞を
一人失、た

んん

んん

んん



どうだ、我は淫地に
よる責めは...

人間のものを比喩にも
なすぬ刺激と感ずんべし今身を
覆へんく...

は

は

す

ん

ぬ

ふ

あ

あ

あ

あ



ああは

ああ

ああ

ああ

なう
奥に
ひる

あ

あ

ああ

ああ

三三光景知
秘部を休を回せ丸
往を果ん方知い



さうなる前に
おえり心をたてな...お前の
逸材が、最も才能が、結末を
招くことにならぬらう

なにに...!!

はあはあはあ
らららららら

おひ

おひ...おひ?...



ほら

ハリ米

AI&MAI~天界編~IV

※シリーズもいよいよパート4までやってきました。今回は垂衣&麻衣シリーズにおいて、「メインヒロインのイヴルトシーンが存在しない」という、かなりイレジニアな仕上がりになっています。新章に入ると話のスケールも広がり、キャラクターも増えたので、それぞれの物語を掘っていくと、今回のような「イヴルトシーンの谷間」が出来てしまったりと、前作「Ⅲ」の段階で予見できていた。ただ、これこそ「物語」の方も、こじくりと描きたい、と言う想いは強くあります。言い訳になるかもしれませんが、そもそも「淫獣聖戦」と言う作品は、イヴルトシーンを重視せず、それ以上に「天津の姉妹」のキャラクターや物語性の方に魅了される部分も強く、無印では後編の「XX」に至っては第三巻にしかメインのイヴルトシーンが存在しておらず、イヴルトシーンは、いわゆる「ヒロイン群像もの」を除けば異例の作品であると言えます。

〔調教の間〕

※牢獄で調教を兼ねた部屋。下にある池には淫魔達の体液が満ちています。

姉妹のそのけなく、自分も考えたキャラのイヴルトシーンの外、ここのけがりの冒険でしたわ... 血に鷲雀のこころをアインの方にとおくらひ愛に値けたわ... そこが生命線になると思うのですが、私に鷲雀も美影も好きなので、心を込めて描かせようと思います。



←〔淫魔兵〕

※職藏(せんか)に特化した式神部隊。エロの量産機のある不気味な感じが好き。なんかああ言うのを掘ってみたい、と思っていました。ただ、もう少し(終末感)を描ければ良かったかな、と思いますわ...

ALMA IV

&

天界編



(奥付)

{発行}
{発行日}
{著}

太陽出版株式会社
25年 10月 24日
神無月 かんた

武

装



女

神